

淀川水系流域委員会 第 77 回運営会議 (2006. 10. 10 開催) 結果報告		2006. 10. 20 庶務発信
開催日時	2006 年 10 月 10 日 (火) 15 : 00~15 : 45	
場 所	みやこめッセ B 1 F 第 1 会議室	
参加者数	委員 8 名 (委員長、各部長、WG リーダー)、河川管理者 3 名	
<p>1. 検討内容および決定事項</p> <p>①検討会の公開化について</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで経済的理由、検討内容等から非公開で開催し、8 月からは議事録について公開としていた「検討会」について、外部からの要望等を踏まえ原則公開とする(河川管理者が出席する会議、河川整備計画に係わる内容を審議する会議は原則公開)。 経費を極力抑える意味から、傍聴者の人数制限を行い、検討会と同様の会議方式とし、広い会場の確保等公開に伴う特別な配慮はしない。 運営に係わることを審議する運営会議、意見書のライティング等を行う作業検討会は従来どおり非公開。 公開は今月末に開催する「第 3 回住民参加部会検討会」からとする。 また、運営会議については運営会議メンバー以外の委員に傍聴を認める。 傍聴人数、受付方法、資料配付等詳細な運営については、持ち回りの運営会議において決定する。 <p>②第 52 回委員の議事次第について</p> <p>第 52 回委員会の議事次第について検討がなされた。</p> <p>③第 52 回委員会の進め方について</p> <p>(i)平成 17 年度事業の進捗点検についての意見書への少数意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> 金盛委員から表記についての意見が出されているので、委員会での説明と、少数意見として審議することにする。 <p>(ii)ダム等の管理に係わるフォローアップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ダム管理に係わるフォローアップの進捗体制はダムワーキングで行う(前回運営会議決定事項の確認)。 ダムワーキングでは、計画中の 5 ダムについて、事業化までにまだ相当年数費やされることを念頭において、それまでの間どのように治水、利水対策を実施しなければならないか委員会として明確にしておく必要があることから、それも合わせて検討する。 担当者については、今後検討したい。 <p>(iii)部会・WG の検討状況と今後の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> 部会、WG について、利水・水需要管理部会は荻野部会長、意見聴取反映 WG は田中リーダー、水位操作 WG は西野リーダーがそれぞれ進捗状況について報告する。 地域別部会は 3 回予定されているが、テーマ別部会を中心にを行い、その検討結果を踏まえて年度末までに 1 回ないし、2 回程度開催するのがよい。 <p style="text-align: right;">以上</p>		

※結果報告は主な決定事項等の会議結果を迅速にお知らせするために庶務から発信させていただくものです。